

グループでまとめた意見を発表する二見中の生徒ら  
＝明石市二見町西二見



## 意見出し合い運動会実施へ

まち協、中学生らが「サミット」

# 二見町さらに魅力的に

住みよい地域について住民らが考える「二見サミット」が3日、西部文化会館（明石市二見町西二見）であった。二見中学校生や二見3小学校区のまちづくり協議会員約40人のほか、明石西高の生徒がビデオメッセージで参加した。（領五菜月）

サミットは、大学進学などで「二見町を出た人たちが将来戻りたいと思える町を住民らでつくっていききたい」と昨年初めて実施された。参加者は6グループに分

かれ「さらに住みやすい町にするためにどんなことをしてみたいか」について議論。グループで一つの意見をまとめて発表した。「高齢者のために移動スーパ

がほしい」という日常生活に関する意見や「世代を超えた交流の機会がほしい」「釣りイベントをしたい」という行事に関する意見などが上がった。

続いて、出た案の中から多数決で二つを選び、具体的な取り組み案をグループで話し合って発表した。海を生かしたイベントや、運動会などさまざまなア

アイデアが提案され、必要経費の生み出し方や具体的な競技名まで意見が出た。

最終的に、「運動会イベントをする」という一つの取り組み案が決定。今後、次年度の事業計画に案を盛り込めるように、まちづくり協議会などによる「実務者会議」で具体化する予定だという。

二見中3年の宮北碧果さ

不動産  
販売  
ENISHIA  
078  
940-6580

ん(15)は「住みやすい町だ、長くできることがあると気  
と、思っていたけど、もっと  
付けた」と話した。